仙北市DX推進計画　概要版

令和 4年 3月

仙北市

総論

計画の趣旨

本計画では、仙北市としてのDXを推進することで、単なる新技術やシステムの導入だけではなく、それに合わせて制度や組織のあり方、業務プロセス、職員の意識なども含めた変革を行い、市役所の大幅な業務の効率化を実現させ、地域や市民のデジタル化ニーズに応えると共に、本市の様々な課題の解決を図り、「幸福度NO.1のまち」を実現することを目的とします。

現状の課題	・行政に対する市民や社会のデジタル化ニーズ ・人口減少に伴う市役所の労働力の低下
デジタル化による課題解決	・満足感の高い市民サービスの提供 ・少ない労働力でも維持・向上が可能な庁内業務の実現
DXによる更なる発展	デジタルデータの利活用で「幸福度NO.1のまち」を実現

DXの意義

本計画におけるDXの意義とは、デジタルデータとして蓄積されている様々な情報を掛け合わせて得られる新たな情報を利用することで、市民サービスの更なる充実や、観光や農業をはじめとした市内産業の活性化につなげ、「幸福度NO.1のまち」に発展させていくことである。

DXによる仙北市の移り変わり

現状

【紙面による手続き・業務が多く手間がかかる状況】

・市民が自ら時間をかけて市役所へ出向く
・市民が市役所の受付時間に合わせて問合せ
・デジタルファイル等の情報も紙に印刷して回覧
・決裁書にハンコをもらうため庁舎間を車で移動

デジタル化

【市民サービスの利便性向上と庁内業務の効率化】

・手続きは自宅からオンラインで申請
・市民の都合が良い時間にSNSやﾁｬｯﾄﾎﾞｯﾄで問合せ
・デジタルデータはそのままデジタルで保存・共有
・電子決裁システムでどこからでも申請・承認可能

DXによる発展

【蓄積した情報を活用して「幸福度NO.1のまち」へ】

DX推進で目指すまちづくりの例
・デジタルとリアルを融合した地域ｺﾐｭﾆﾃｨの構築
・スマート農業による省力化・高度化
・最新技術やデータ活用による新たな観光体験

全体像

市の現状

急速な人口減少および高齢化	・若者の市外流出による急速な高齢化率の進行
新型コロナウイルスの影響	・非対面式の市民サービスへのニーズの増加
基幹産業の衰退	・農業従事者の高齢化 ・観光客の減少

市役所の課題

市民サービスのデジタル化対応の遅れ	・非対面式の市民サービス対応が不十分 ・申請内容によって市民が遠方の庁舎へ移動しなければならない
庁舎分散による非効率な業務	・会議や決裁のための庁舎間移動が発生している
業務改善意識が低い	・課題や問題に適切に取り組めていない割合が高い傾向にある

目指す姿

1. 前例にとらわれない新しい行政のデジタル化

市民サービスの維持向上に向けたデータ利活用による新たな価値の創出

2. 市民に対するデジタル・デバイド対応

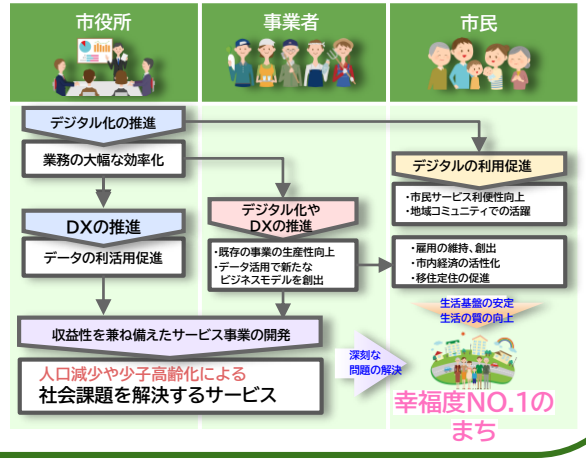
スマートフォン教室をはじめとしたデジタルに触る・知る・分かる機会の創出

3. 市内の事業者におけるDXの導入支援

デジタル人材の育成を行い市内事業者におけるDXの取り組みを支援

まちづくりのビジョン

DXで成長するまちづくり



目指す姿の実現に向け、以下の3つの施策を基本施策として推進します。

基本施策1	職員のスキルアップ	(1) ITリテラシー(ITの知識を活用する能力)の向上 (2) デジタル化に向けたスキルの習得 (3) 情報セキュリティに関する教育
基本施策2	業務改革の推進	(1) BPR(業務プロセスの見直し)の推進 (2) ペーパーレスの推進 (3) 情報セキュリティポリシーの更新と継続的な評価
基本施策3	デジタル化の推進	(1) 市民サービスのデジタル化 (2) 庁内の共通業務のデジタル化 (3) 庁内の情報共有プラットフォームの構築 (4) デジタル共有化の推進

デジタル化の導入における主な取り組み

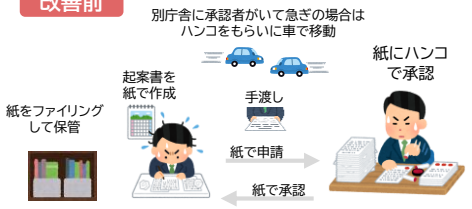
庁内業務・市民サービスのデジタル化

庁内業務におけるデジタル化導入では、令和5年に予定されている自治体情報セキュリティクラウドの更改に合わせて、決裁管理システムや文書保存・管理システムの導入、庁内統合ポータルサイトの構築等、クラウドを活用したデジタル化を実行していきます。市民サービスにおけるデジタル化の導入では、市民のニーズを重視し、オンライン申請やリモート窓口、市民への情報発信・収集機能を持つSNSなどの導入について検討を進めていきます。なお、この導入についてはデジタル庁による基幹業務システムの標準化も見据えながら計画していきます。

庁内業務のデジタル化

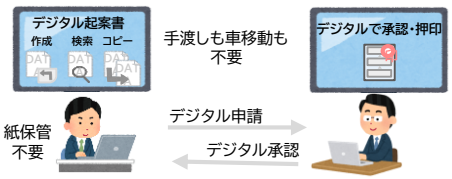
決裁管理システム

改善前



紙面中心の業務で時間と手間がかかる

改善後



紙を使わずに申請・承認可能となり、早く簡単に

効果の例 ・起案書作成時間の削減　・移動を含めた決裁待ち時間の短縮　・紙保管にかかる工数の削減

文書保存・管理システム（クラウドストレージ）

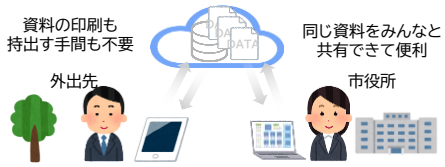
改善前

外出先での資料確認

外出先からの資料確認が難しい

改善後

外出先での資料確認



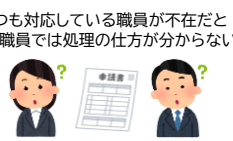
どこからでもクラウドに保存した資料を確認可能

効果の例 ・場所によらない文書閲覧　・文書探し時間の短縮　・紙保管にかかる時間とスペースの削減

庁内統合ポータルサイト

改善前

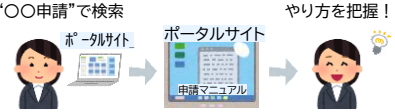
詳しい担当者が不在時の対応



業務の属人化

改善後

詳しい担当者が不在時の対応



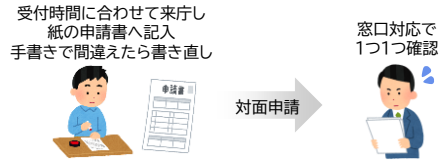
ポータルサイトに蓄積された情報を自ら見つけ、解決

効果の例 ・庁内の問合せにかかる時間の削減　・知識やノウハウの蓄積・共有により特定職員に依存した業務の廃止

市民サービスのデジタル化

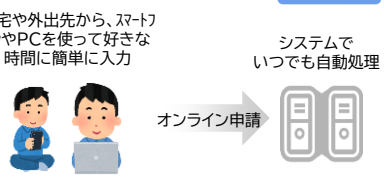
オンライン申請

改善前



紙の申請書へ記入の手間、書き間違い

改善後

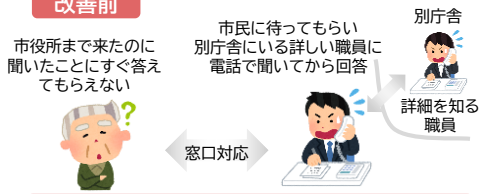


24時間365日、どこからでも申請が可能

効果の例 ・来庁不要で申請可能　・窓口業務の煩雑化の回避　・対面業務削減による感染症対策

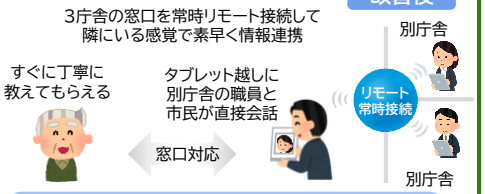
リモート窓口

改善前



詳しい職員に電話で聞いてからの回答で時間がかかる

改善後

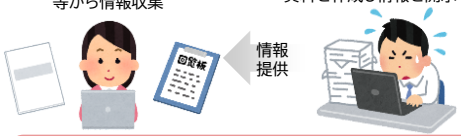


市民を待たせることなく詳しく丁寧に回答が可能

効果の例 ・どの庁舎にいてもいつでも詳しく丁寧な回答　・窓口での待ち時間の削減　・市民の庁舎間の移動をゼロに

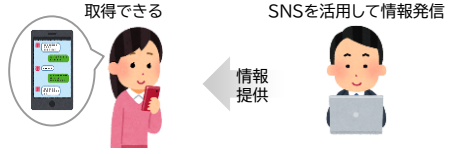
SNSを活用した情報発信・収集

改善前



広報やHPから情報収集

改善後



SNSを活用してリアルタイムに情報発信

効果の例 ・ペーパーレス化　・どこにいてもリアルタイムに行政情報や安全安心情報を確認可能

将来の展望

DX推進による仙北市の発展

BPR（業務プロセスの見直し）やデジタル化によって業務が効率化されれば、限られた職員数でも行政サービスを市民に提供することができ、DXの成功事例を市内事業者等にも展開することで、地域活性化につながることも期待されます。DX推進による行政サービスの充実と地域産業の活性化によって「幸福度NO.1のまち」の実現を目指します。

幸福度NO.1のまち

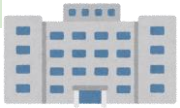
市民
・ウェルビーイング※1の享受
・産業の生産性向上による雇用機会の増加

産業
・デジタル化推進での生産性向上
・データ利活用で事業の拡大・創出

まちづくり
・データ利活用により交通や観光等の様々な課題を解決する先駆的な企画の立案 / 実行
・課題解決に向けたサービスにおける市内事業者の参画

データ利活用で生み出される新たな価値

市役所のデジタル改革



市役所
・市民サービスの維持向上
・持続可能な組織 / 人員体制の構築

職員
・スキル向上での業務改革や職場風土変革
・データに着目した事業執行

※1 幸福で肉体的、精神的、社会的すべてにおいて満たされた状態のこと。

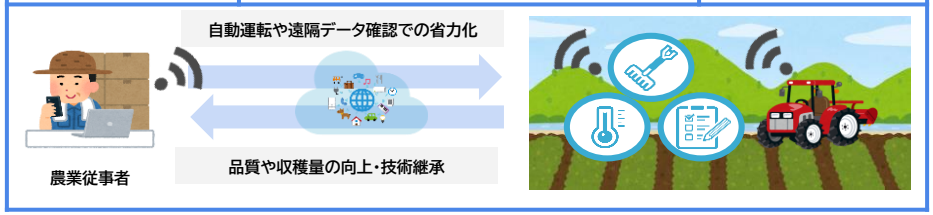
市民サービスでのDX推進の取り組みイメージ

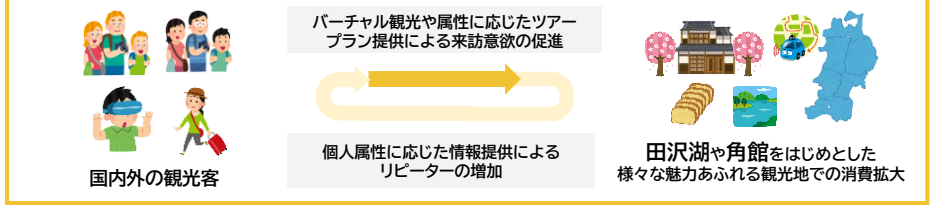
課題	DX推進で目指す姿（イメージ）	技術
自助・共助の弱まり	デジタルとリアルの融合による地域コミュニティの再構築	SNS メタバース ※2

※2 ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ上に構築される仮想空間の通称として使われ、自らの分身となるアバターを操作することで、他の利用者と双方向のやりとりができる技術のこと。

産業でのDX推進の取り組みイメージ

課題	DX推進で目指す姿（イメージ）	技術
農業従事者の高齢化 若年層の転出による担い手不足	スマート農業による省力化・高度化	農業データ 自動運転技術



観光のまちづくりでのDX推進の取り組みイメージ

課題	DX推進で目指す姿（イメージ）	技術
観光入込客数の減少	最新技術やデータ活用による個別最適化された観光体験	観光人流データ 自動運転技術 VR・AR